

困った時、こんなふうにしてみました！

～クラブマネジャーからあがった事例①～

Q クラブの設立・運営を通して「困ったなあ・・・」「しまった！」「失敗した」などと思った経験談と、その時どのように対処しましたか。また、「こうすればよかった」と後で思ったことや「最初から決めておくと役に立つルール」などがあれば教えてください。

【困った時、こんなふうにしてみました！ 編】

●助成金を受ける予定が、なしに・・・

クラブ設立時に、助成金を受けられなかったことがあります。3月から会員募集し4月からスタートしたのですが、5月に助成金不決定の通知があり、すでに行った事業経費の借金を抱えての船出でした。指導スタッフに状況を説明し「謝礼なし」を納得してもらって、500万円の予算を100万円程度に縮小した経緯があります。皆がクラブの事を理解してくれれば何とかなると痛感した1年目でした。

●助成金の負担金分を知らずに失敗

助成金では多く予算を組むとその分クラブの負担金も増えることを知らず、かなり失敗しました。結局助成金は、クラブで本当に足りない部分を補う位の予算だてにしたほうが運営はやりやすいです。初めて助成金をもらうクラブや民間人は、事業や助成金について本当の意味が理解しにくく、役員もいまだに理解していません。このような面での勉強会は必要だと痛感しています。

●問題を解決するのがマネジメント、事業計画を見直す

設立時からいろいろな問題を抱えています。それを解決していくのがマネジメントだと思っています。特に平成21年度は、運営面で支払わなければならない資金が不足しそうな事態に陥りました。このような危機的な状況を迎えて事業計画を真剣に見直し、新たな事業計画を作成しました。危機的な状況から立て直すことができ、ほっとしています。

●講師・指導者との約束事は、事前に書面で

依頼後に、講師の話が二転三転してイベント開催が危ぶまれたことがありました。また、指導者の方に会場使用料のお支払いをお願いしても実行されないトラブルもありました。事前に打ち合わせをして、総合型クラブの趣旨を理解してもらうことも重要ですが、予め講師や指導者の詳細をよく把握して、事前の依頼文書や承諾書に、必要事項を記載して取り交わすようにしています。

●指導者の急な欠席、補助員の設置へ

指導者の方々には、休む時には代行者をたてるようお願いをしていますが、病気や急用などで、やむを得ず欠席されることがあります。会員への連絡方法を決めて慌てて連絡していましたが、急なので連絡がつかない方も少なくなく不満の源でした。そこで、補助員制度を設けて日頃から補助指導者を養成し、事務局スタッフの支援のもと急な欠席でも代行ができるようにしています。

●パソコンや経理ができないスタッフへの対応

スタッフが急にやめることになり大変困りましたが、運良く、総合型クラブに興味を持って運営に携わりたい人が見つかりました。ところが、以前のスタッフと異なり、パソコンでの業務経験がありませんでした。そこで経験者にマニュアル作成を依頼し、時間は掛かりますがパソコン教室にも行ってもらうことにしました。経理の人材も不足でしたが、同じように対応しています。

【こうすればよかった、最初から決めておくといルール 編】

●設立時

- ・地域の有力者・学校関係などの人を最初から運営委員に入れておくこと。
- ・既存団体とうまくやっていくために、公共施設の空きスペース・時間などを使っていく。

●運営委員会、組織体制

- ・とにかく運営委員会のような会議では、全員が発言し参加できるように進行する。
- ・各部会の仕事の内容を、運営委員に把握・徹底させる。
- ・規約に沿って運営しなければならないが、行事担当者などの役割分担などは定例会（運営委員会）を開催してその都度、5W1Hで決めていく。
- ・期間を設定（1クール4ヶ月など）して、理事会で教室開催の決定や継続を検討している。
- ・定例会議・部会・事務局会議などの会議は、「毎月第〇週の〇曜日」と決めている。
- ・事業毎の予算立てを密にし、しっかりとした計画をたてること。
- ・最初から、役員・スタッフの役割分担を明確にしておくべきだった。どうしても、特定の人が全ての事項についてタッチし、他の人はこの特定の人にまかせっきりのクラブ運営が行われがち。10年近くなると後継者を育てることが必要だが、何でも一人でやると後継者は育ちにくい。手間暇がかかるが、しっかりした役割分担を最初にしておくべきだった。

●会員向け、ルールなど

- ・会員退会時の年会費（残期間）の取り扱い
- ・「家族会員」の設定で、「家族」の範囲（同居以外の場合）
- ・各教室の最低施行人数を設定しておく。
- ・新しい教室を始める場合は、最初はお試し期間として3ヶ月実施する。その結果、参加人数が10人にも満たないことが続けば中止する。
- ・定員割れが、2クール（1クールは半年）以上続く教室は、今後について検討をする。
- ・ネームプレートの装着をお願いしているが装着率が低いので必要性をアピールし、会員手帳や運用規則類に掲載するよう検討。邪魔にならず付けたくなるネームプレートを探すことも必要。

●緊急時対応

- ・緊急時対応マニュアルについては、気象に関する事や怪我の対応についても含めて作成している。
- ・怪我、事故時の対応と保険関係
- ・ケガ・事故・災害等予期せぬ事態に備えた緊急対応マニュアルと運営委員の緊急連絡網を作成。

<情報を寄せてくださった全国のクラブマネジャーのみなさま、ありがとうございました！>